

地域公共交通の制度財源検討会（第23回）開催のお知らせ

＜ハイブリッド開催＞

本検討会は、2019年3月以来これまで22回にわたり、産官学を問わず交通分野における専門家の方々を講師にお招きし、述べ1,900名近い方々にご参加いただき、独立採算を基本とする我が国の公共交通に関わる制度を見直すことを目標に様々な議論を重ねてきました。

人口減少や運転士不足の進行により、地域公共交通の維持は全国的な課題です。

そのような中、松本市は2010年10月から市職員のマイカー通勤を原則禁止するなど、早くから公共交通の利用促進に向けた取り組みで知られていますが、2023年4月には路線バスの公設民営化の取り組みを開始し、全国的にも注目を集めてきました。

今回は松本市交通部公共交通課の大塚友宏課長をお招きし、松本市の公共交通政策、とりわけ路線バスの公設民営を中心に、制度導入の経緯や仕組み、現状についてご紹介いただき、引き続き検討会にご参加の皆様と意見交換を行うこととします。

今回の検討会を通じ、人口減少時代における地域公共交通のあり方と、それを支える制度・財源について参加者みんなで考えることができれば幸いです。

エコエネルギーによる地域交通システム推進協会（AREEV）理事長
人と環境にやさしい交通をめざす協議会（交通まちづくりの広場）代表幹事
竹内 佑一

＜＜地域公共交通の制度財源検討会 第22回＞＞

- 日 時 2026年 7月25日(土) 14:00～16:00(延長する場合があります。)
方法：会場参加およびオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催
- 会 場 関西大学東京センター（東京駅八重洲北口）サピアタワー9階
(<https://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/map.html>)
- 報告者 大塚 友宏 氏（松本市 交通部 公共交通課長）
「松本市の公共交通政策 ～路線バスの公設民営を中心に～」
- コメンテーター 宇都宮浄人（関西大学経済学部教授
人と環境にやさしい交通をめざす協議会事務局長）
- 参加費 会場参加：1,000円（資料代） オンライン参加：無料
- お申込み イベント受付ツール「イベントレジスト」経由にて、会場参加またはオンラインによる参加を選択の上、お申し込み願います。
⇒ <https://eventregist.com/e/pkvPt1BetuNh>
会場参加を選択された方には、後日会場内への入構方法等についてご案内します。また、お申込みいただいた方全員に、当日使用するURL等をお伝えします。（2日前を予定）
- 問合せ先 人と環境にやさしい交通をめざす協議会（交通まちづくりの広場）
⇒ yasashii.transport@gmail.com 小田部（コタベ）